

山仕事サークル杉良太郎 すぎよしたろう

山仕事サークル杉良太郎(通称:杉良^{すぎりょう})は京都大学の学生が中心として集まり、主に京都市の北区にある雲ヶ畑地域をフィールドとして活動している団体です。現在は10〜15名ほどのメンバーで活動しています。

林業を通じた地域社会と人のつながりを



真夏の下刈り作業。急斜面を登りながら草を刈っていきます

雲ヶ畑は京都の中心を流れる鴨川の源流が位置し、古くから林業が営まれている地域です。杉良は、雲ヶ畑で林業を営む山主の方から山仕事や山で生きる知恵を教してもらっています。山仕事の内容としては、季節に合わせて植林や、下刈り、枝打ち、間伐、雪起し、地替えなどを、チェーンソーなどの機械を使うのではなく、ナタやノコなどを使って作業をしています。活動は月に2回程度で、毎回参加が義務付けられていないので、メンバーはその都度様々な人が参加します。学生が中心ですが、社会人も参加することができ、40代、50代の方から、上は80代の方まで、様々な方が参加しています。

林業について学びたい、自然とふれあいたい、今までしたことがない体験がしてみたい、木が好き、など参加に至る思いは様々ですがメンバー全員、楽しみながら、一生懸命、山仕事をしています。

活動が始まった経緯と仕組み

杉良は、元々は熱帯林の伐採について考える「熱帯林京都」という団体の中のプロジェクトから生まれたものです。1999年に団体として独立し、今年で15周年を迎えました。実際に山仕事を体験してみたいという学生たちの思いを、地域の方々にご理解いただいて活動が始まりました。現在は約10名ほどの山主の方々に協力をお願いしています。

杉良の活動に当たっては、年に2回、雲ヶ畑内に山を持つ山主の方々と杉良のメンバーが集まり、「山主会」を開催し、いつ誰の山でどのような作業を行うかを取り決めていきます。



山仕事サークル 杉良太郎

- 活動フィールド
京都府京都市北区雲ヶ畑地域
- 活動日
土曜日(月2回程度)
- 主な活動内容
 - ①林業作業(植付け、下刈り、枝打ち、間伐など)
 - ②林業ボランティアマニュアル作成
 - ③林業行事への参加、製材業・木造建築の見学、学習会
 - ④森林観察、間伐材を使った小物作り
- ホームページ
<http://www.geocities.co.jp/sugiryou98/>



山主さんから枝打ちの仕方の説明を聞いている様子



植付作業の様子。シカ害に備えネットも張っています



作業前にはみんなで集まって一日の確認をします



「雲ヶ畑森の文化祭」で地域の方々と交流を深めています

活動を通して

活動に参加するメンバーのほとんどは、最初はあまり林業に興味のない人が多いですが、活動をきっかけに徐々に興味を持ち始め、自分で勉強を始めたたり、有名な林業地への見学ツアーを行ったり、他の林業関連の団体に所属して活動したりする人も出てきています。

大学を卒業したメンバーの中には林業にかかわる職業に就いたり、起業をしたりする人もいます。卒業後も雲ヶ畑を心のふるさとと慕い、山主の方々と訪れ、山仕事に参加していくOBもいます。

また、受け入れていただいている山主の方々からも、山仕事を通して学生との交流で元気をもらった、一人で山に入るよりも楽しい気持ちで山仕事ができるといったご意見をいただくなど、お互いにとって良い関係が築けています。

杉良は中心メンバーとなっていて考えるきっかけにもなっています。林業について学ぶ場であるとともに、地域社会や人とのつながりについて考えるきっかけにもなっています。

今後も林業を通じて多くのことを学んでいけるよう活動を続けていきます。

雲ヶ畑森の文化祭

杉良は山仕事を通して、山仕事だけではなく雲ヶ畑との関わり方もするようになっていきました。

雲ヶ畑に入り山仕事を教えてもらうようになり、徐々に山主さん以外の雲ヶ畑の方々との交流も増えてきました。日頃、山仕事を教えてもらっている感謝をこめて、雲ヶ畑に恩返しをしようと、杉良が主催となって12年前から「雲ヶ畑森の文化祭」を地域で行うようになりました。そこから徐々に雲ヶ畑地域の方からも協力してもらうようになり、他の地域の人を呼び込むまでになり、去年の第11回森の文化祭では入場者が約200人にまでなりました。

杉玉を作ったり、竹を使ってバームクーヘンを作ったり、雲ヶ畑の方と杉良のメンバーが楽しいお祭りにしようと協力し、一緒に意見を出し合いながら、山にまつわるものを使った様々なブースを毎年用意しています。

のような仕組みがあることで雲ヶ畑内の様々な山に入り、一人だけでなく様々な山主の方からのお話を聞くことができます。